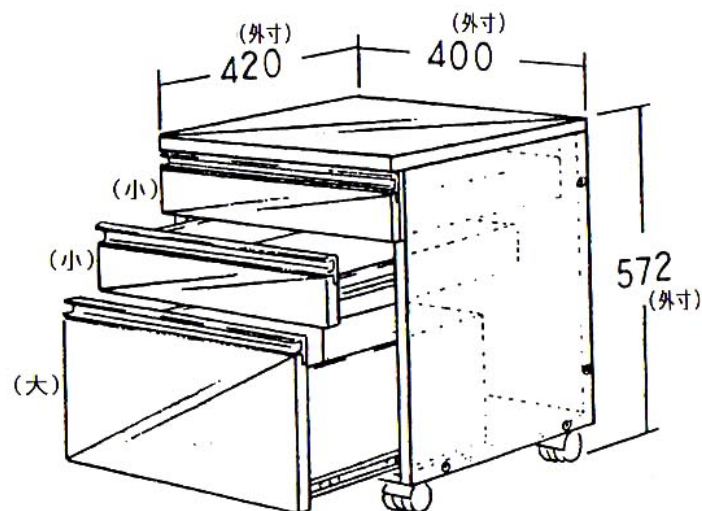


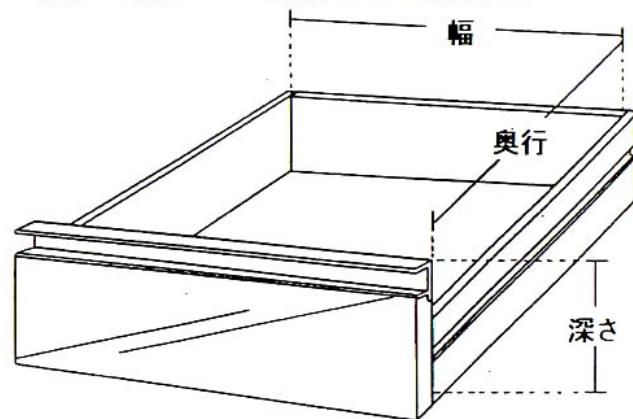
F-528N 光沢仕上げデスクサイドチェスト



(単位:mm)

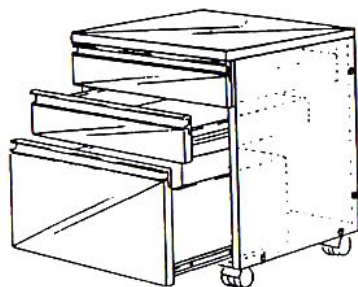
引き出し有効内寸

- (小) (幅)332 × (奥行)337 × (深さ)97 (2個共通)
 (大) (幅)316 × (奥行)337 × (深さ)237



この度は本品をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

完成図



【日本製】

たんす類の品質表示

寸法

外形 約 幅 400mm × 奥行き 420mm × 高さ 572mm

引出しの奥行き 350mm

表面材 プリント紙化粧合板

表面加工

取り扱い上の注意

イ、据付けの際には、湿気の多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。

ロ、直射日光又は、ストーブ等の熱を避けてください。

表示者 社団法人 日本家具工業連合会 昌 03(5645)8547

製造会社管理番号 26-001

耐荷重量についての表示 天板部分は20kg、引き出し部分は2kgを
超えない範囲でご利用下さい。

△組み立て前に必ずお読み下さい!

- 塗料・接着剤等の臭いがある場合があります。梱包を開けて作業する場合は通気性を良くして行ってください。
- 組み立ては充分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷つかないように注意してください。
- 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
- 組み立てる前にまず部材・部品を確認してください。
- 万一、備・不足があればご面倒ですが下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をすると、間違いが防げます。
- 部材をボンドで接着した後では外す事ができませんのでご注意ください。
- ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にして組み上がってから締めてください。
- ビスを必要以上に締め過ぎると、空回りして効かない場合があります。
- ボンドが完全に乾いてから(夏季6時間・冬季12時間程度が目安です)ご利用ください。

(注意)※商品を保護するために薄い板が2枚入っていますが、組み立てに必要な部材ではありません。

※裏面の取扱説明書も必ずお読み下さい。また、この説明書はいつでも見られるように大切に保管して下さい。

上記の注意事項に充分注意して、正しく組み立てて下さいますようお願い致します。

組み立て時に用意する道具

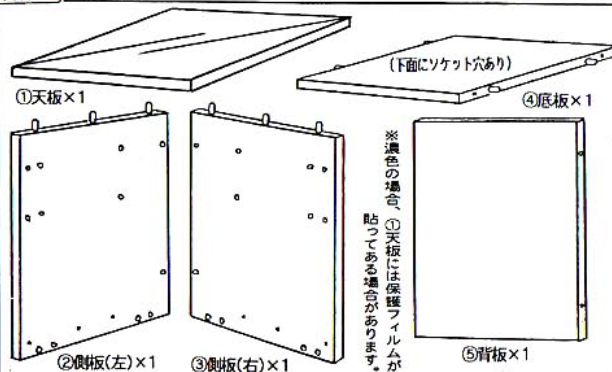


部 材 ・ 部 品 明 細

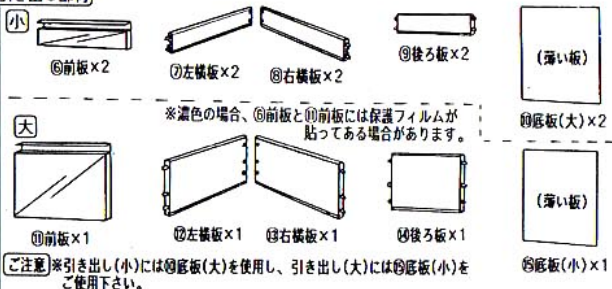
《部品明細》※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。

※梱包を開けると箱の両端に薄い板(約13.5cm×約40.5cm)が1枚ずつ入っています。これは商品を保護するための
ものであり、組み立てに必要な部材ではありませんので、処分していただくようお願い致します。

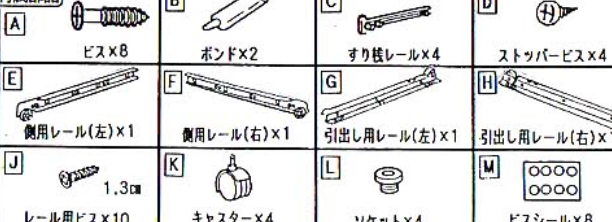
本体部材



引き出し部材



付属部品



組み立ての手順

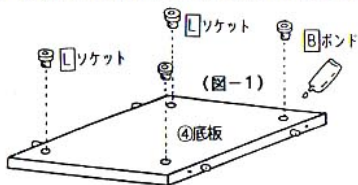
F-528

番号の順番に従って、組み立てて下さい。

※ハンマーで叩く場合は、あて板・あて布・古雑誌等をあてて下さい。

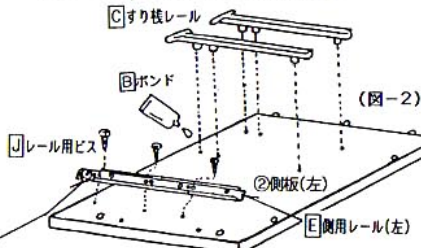
1 本体を組み立てる。

- (1) ④底板の穴に[B]ボンドを入れ、
[L]ソケット(4個)を打ち込みます。
(図-1参照)



※図-2は②側板(左)への取り付け図です。

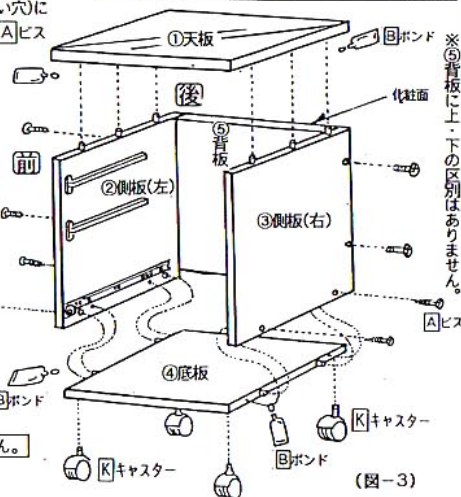
- (2) ②側板(左)のすりばね用穴(貫通していない穴)に[B]ボンドを入れ、[C]すりばね2本を差し込みます。あまり強くたたくと破損する恐れがありますので注意して下さい。



- (3) [E]側用レール(左)を押しに合わせて取り付けます。(ここまで図-2参照)
(4) 同じ要領で③側板(右)にも[C]すりばねレールと、[F]側用レール(右)を取り付けて下さい。

※ローラー部分が下向きになります。

- (5) 左右側板②・③のダボ穴(貫通していない穴)に[B]ボンドを入れ、④底板を差し込み、[A]ビスで固定します。



- (6) ⑤背板を化粧面が外を向くようにして[A]ビスで取り付けます。

- (7) ①天板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、上から傷のつかない様にあて物をあてて打ち込みます。

(注意)
※①天板は前・後を間違えないように取り付け下さい。

- (8) ④のソケットに[K]キャスターを差し込みます。(ここまで図-3参照)
カチッと音がすれば取り付け完了です。[B]ボンド

※④に前・後の区別はありません。

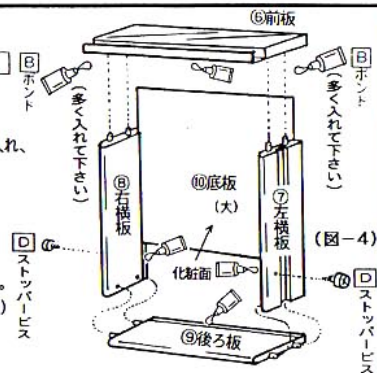
(図-3)

【使用上の注意】※チェストが倒れる恐れがありますので、一度に複数の引き出しを引かないようにして使用して下さい。

2 引き出しを組み立てる。

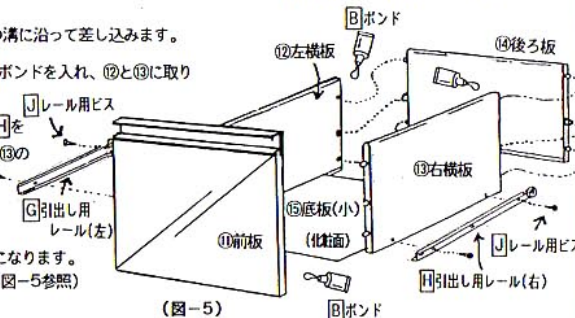
※同じ要領で引き出し(小)を2個組み立てて下さい。

- (1) ⑦左横板と⑧右横板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、⑨後ろ板を溝に合わせて差し込みます。
(2) ⑥・⑦・⑧の各溝(各2カ所程度)に[B]ボンドを入れ、⑩底板(大)を化粧面に上に向けて差し込みます。
(3) ⑥前板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、傷のつかない様にあて物をあてて打ち込みます。この時、⑩が各溝に入っているか確認して下さい。
(4) 最後に⑦と⑧に[D]ストッパービスを取り付けます。(ここまで図-4参照)



※引き出し(大)を1個組み立てて下さい。

- (1) ⑦左横板と⑧右横板に[B]ボンドを入れ、④後ろ板を差し込みます。
(2) ⑤底板(小)を⑦・⑧の溝に沿って差し込みます。
(3) ⑩前板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、⑫と⑬に取り付けます。
(4) 引き出し用レール[G]・[H]を左右に注意して、⑫・⑬の穴に合わせて[J]レール用ビスで取り付けます。
ローラー部分が後ろになります。(ここまで図-5参照)



3 引き出しを差し込む。

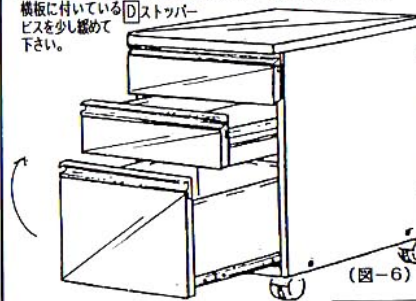
※引き出し(小)を引き出した時に抜けてしまう場合は、引き出しの横板に付いている[D]ストッパービスを少し緩めて下さい。

- (1) 組み上がった引き出しを本体に差し込みます。まず引き出し(小)は溝をすりばねレールに入れて差し込み、引き出し(大)はもち上げるようにして、ローラー部分をレールに差し込みます。

- (2) 最後に見えているビスの頭に[M]ビスシールを貼れば完成です。(ここまで図-6参照)

【使用前の注意】

※組み上がった後、そのままボンドが固まるまで12時間程度待ってから、ご使用下さい。

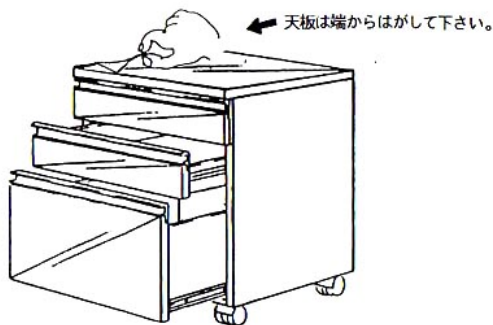


(図-6)

※濃色の場合の保護フィルムのはがし方が裏面にあります。

保護フィルムのはがし方

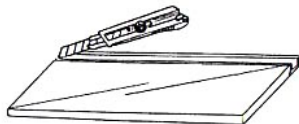
天板と引き出し3個の前板には保護フィルムが貼ってある場合がありますので、下記の要領でフィルムをはがしてご使用下さい。



引き出し前板のフィルムのはがし方

(注意)※前板に傷つかないように、フィルムを完全に切して下さい。
完全に切れていないとフィルムをはがした時に引き手の部分にフィルムが残る場合があります。

手順① カッターナイフで引き手に沿ってフィルムを切る。



手順② フィルムを端からはがす。



手順③ フィルム全体をはがし取る。

